

基本施策評価シート

基本施策最終評価

B

基本施策通し番号 26

基本施策 戦略的な観光の推進

構成施策

| 施策番号 | 施策名 | 施策最終評価 |
|------|------------------|--------|
| 施策1 | 観光資源の活用と滞在型観光の推進 | B |
| 施策2 | イベントの充実と広報の推進 | B |
| 施策3 | 広域連携による周遊観光の推進 | A |
| 施策4 | エコ・グリーンツーリズムの推進 | B |
| 施策5 | 国際観光の推進 | B |

成果指標

| 指標 | 内容 | 令和2年度 目標 | 令和2年度末 実績 | 単位 | 令和2年度の成果の検証 |
|----------|---------------------|-------------|--------------|----|---|
| 観光入り込み客数 | 大野市を訪れる観光客の年間総数(暦年) | 220 | 112 | 万人 | 新型コロナウイルス感染症により県外に向けた観光誘客の取組みが限定されたため、観光入り込み客数は半減。誘客キャンペーン実施などによりアウトドア観光は昨年度に近い入り込み客数を得られた。 |

後期基本計画策定時の「現状」と「課題」

| | |
|----|--|
| 現状 | <ul style="list-style-type: none"> 結ステーションを拠点としたまちなか観光の充実を図るため、城下町東広場の整備やイベントの実施、滞在型旅行企画に対する助成を行うとともに、郊外では農業体験や自然体験などのエコグリーンツーリズムの推進や春の花や秋の紅葉などの観光情報の提供などに積極的に取り組んできた。 「天空の城越前大野城」等の効果で増加傾向にあった観光入り込み客数が伸び悩んでいる。 |
| 課題 | <ul style="list-style-type: none"> 既存の観光資源をさらに磨き上げ、活用し、「天空の城」に続く魅力ある観光資源の掘り起しが必要である。 日帰りの観光客が圧倒的に多く、宿泊や食事、各種体験などを含んだ滞在型観光の推進、広域観光の推進など、戦略的な観光施策の推進により、越前おおのファンを増やし、さらなる交流人口の拡大を図る必要がある。 |

社会情勢・市民ニーズの変化

・新型コロナウイルス感染症や暖冬の影響により、令和2年の観光入り込み客数は前年度比56.2%と半減となった。一人当たりの観光消費額は3,117円と前年度比5.8%増となったが低い水準のままである。国内のワクチン接種は年内に完了を予定しており、来年度以降から国内旅行需要は少しずつ回復と思われるが、従来の水準まで回復するのはしばらく掛かると想定する。

・道の駅「越前おおの 荒島の郷」の開駅とともに、中部縦貫自動車道県内全線開通、北陸新幹線福井・敦賀開業が目前となり、観光形態及び観光需要の変化に対応した観光施策の検討を行う必要がある。

現在の「現状」と「課題」

| | |
|----|---|
| 現状 | <ul style="list-style-type: none"> 六呂師高原での星空ハンモックの開催や越前大野城の御城印販売、武家屋敷旧田村家での風車を利用したフォトスポット設置をはじめとする博物館めぐり事業などの実施により、観光客の取り込みに成功しているが、新型コロナウイルス感染症の拡大により国が緊急事態宣言を発し、令和2年4月から5月にかけて観光施設を休館したことによる影響が大きく、全体の観光入り込み客数は大幅に減少となった。その中で密を避けたアウトドア観光が人気となり、市内キャンプ場やスキー場の利用者が増加した。 |
| 課題 | <ul style="list-style-type: none"> 市内の観光は滞在時間が短く、観光消費額が低いことから、滞在時間を延ばす仕掛け(着地型観光商品の開発、土産品の開発等)への対応が重要となっている。また外国人観光客に対する受け入れ態勢が不十分となっている。 令和2年度で道の駅「越前おおの 荒島の郷」からの周遊・滞在を推進する取組み準備を進め、令和3年度から開始する各観光施策について、今後検証を進めるとともに観光消費額を増やす仕組みづくりにつなげていくことが課題となっている。 |

基本施策の「成果」

| | |
|----|--|
| 成果 | <ul style="list-style-type: none"> 日本一きれいな星空に選定された南六呂師区において、令和5年度に星空保護区の認定を得るために、屋外照明の数や種類を調査するとともに光害対策照明をモデル灯として設置し生活上の安全面や積雪時の耐久性などを調査し結果を出した。 令和3年度に開駅する道の駅「越前おおの 荒島の郷」から市内観光地へ周遊・滞在型を推進するために、大野市・勝山市・永平寺町で構成する広域団体で「ジャパンエコトラック」への登録準備を行うとともに、レンタサイクル事業の準備を行った。また(株)リクルートと連携し国内大手旅行サイト「じゃらんネット」に掲載する観光体験メニューの磨き上げや造成を行った。 女性をターゲットとした市内菓子店舗を周遊する観光商品「越前おおのはしごスイーツ」を造成した。 観光協会と連携し御清水ライトアップイベントを令和3年度本格実施に向けて行った。 インバウンド対策として、飲食店等が外国人に対し簡易に対応が出来るように指差しシートを作成し各店に配置するとともに、文化施設の英語版リーフレットを作成した。 |
|----|--|

改善点

・新型コロナウイルス感染症により、観光ニーズの変化をしっかりと把握する。

・道の駅「越前おおの 荒島の郷」を核としたまちなかや郊外への周遊性の強化を図るため、市内全域で観光資源の魅力を一層向上させる。

・社会情勢(中縦自動車道、北陸新幹線)を見据えターゲットを絞った観光PRを進める。

・天空の城越前大野城、六呂師高原の星空に続く観光誘客出来る地域資源の発掘を行い、関係団体と連携した新たなツアー造成や観光情報発信を行い、交流人口の増加を促す。